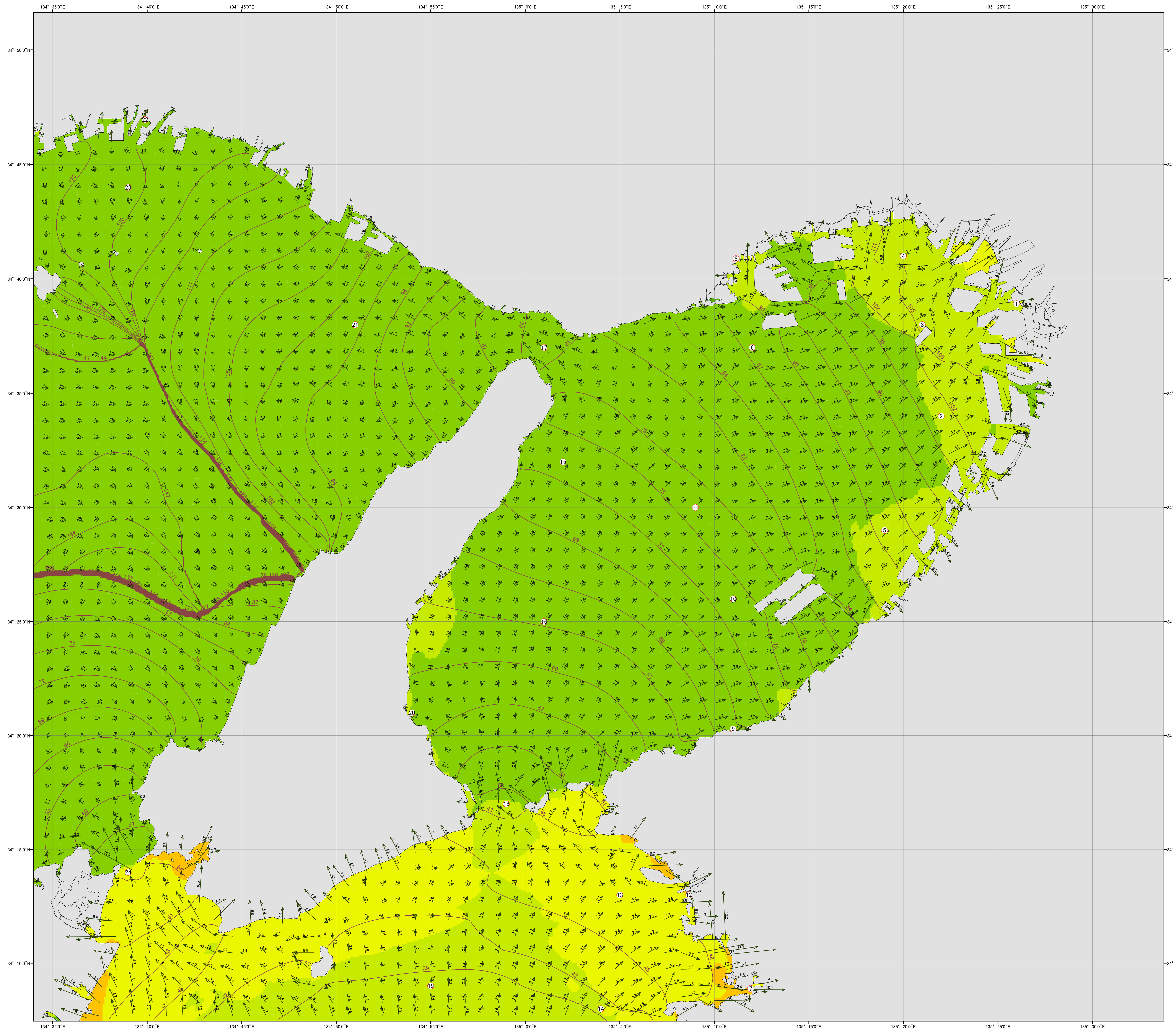
# 大阪湾　広域津波防災情報図　（進入図）

計算条件：　最高水面（零位）
隆起量　：　平均 -28cm(-81cm ～ -5cm)
Zo　　　：　1.00m
備考　　：　本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。

N W E S

1:120,000

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系（WGS84）



## 凡例

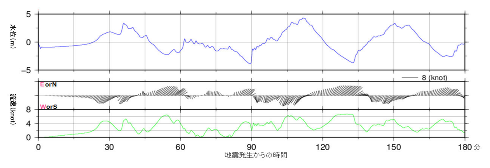
水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇
- 5～最大6.9m
- 3～5m
- 2～3m
- 0.5～2m
- 0.5未満

No. 経時変化図出力点

（図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。）

（例）水位、流向・流速経時変化図

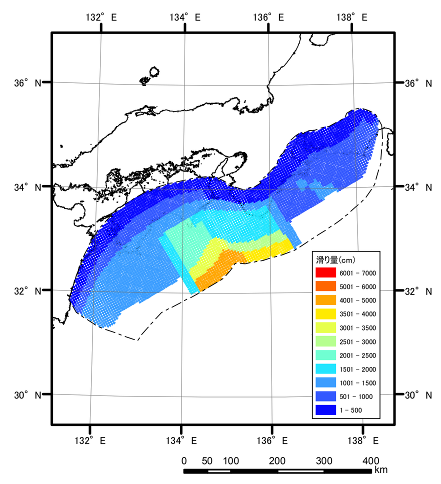


進入時最大流〔knot〕
- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域＋超大すべり域』」

| | |
|---|---|
| 断層面積 S($km^2$) | 140,000 |
| 地震モーメント Mo (N·m) | $6.4 \times 10^{22}$ |
| 平均すべり量 D (m) | 10.9 |
| モーメントマグニチュード Mw | 9.1 |

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成２４年８月２９日発表）」により公表されたものである。
使用した断層モデルは、内閣府より公表された１１ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

0 5 10 20 30 40 km

○ 本図の作成にあたっては、”津波解析支援GISシステム（ArcGIS 10 対応）”を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基盤地図情報5mメッシュ（標高）及び10mメッシュ（標高）（国土地理院発行　国土地理院長承認　承認番号　平24情使、　第911号　平成25年3月29日）

作成機関　：海上保安庁
防災情報図作成年月　：平成25年3月（初版）
地形データ作成年月　：平成15年3月（初版）
：平成24年3月（改訂）